



IHS Markit™

Supplier News

2017年5月8日(月)

ボッシュ、中国での自律運転推進に向け中国企業と提携

2017年4月20日 11:24 (グリニッジ標準時)

中国の高速道路で半自動運転車両の試験を開始

ドイツ企業ボッシュは4月19日付のプレスリリースで、中国での自律運転推進に向け中国のインターネット企業百度 (Baidu)、地図ソリューションプロバイダ高德 (AutoNavi)、ナビンフォ (NavInfo) と提携契約を締結したと発表した。この契約により、パートナー企業は車両内のボッシュのレーダーセンサやビデオセンサが収集した情報を利用し更新地図を生成するソリューションに取り組むことになる。自律運転車両はボッシュのセンサが収集したデータを利用し、自動運転の重要要件である位置を判定する。今回パートナー契約を結んだ4社は今年末までにソリューションを発表することを計画している。

ボッシュは百度と提携し中国の高速道路で半自動運転車両の試験を実施する。テスト車両であるジープグランドチェロキー (Jeep Grand Cherokee) は環境認識用の5つのレーダーセンサと1つのカメラ、ESP (横滑り防止装置) ブレーキ制御システム、および EPS (電動パワーステアリング) などのボッシュ製コンポーネントを搭載している。ボッシュにとって中国は、ドイツ、米国、日本に次ぐ4番目の試験場となる。

重要ポイント: HD (高度デジタル化) マップは自動運転車が自らの位置を判定し周囲の環境をより良く理解することに役立つが、これは従来の GPS ベースのナビゲーションマップでは不可能である。HD マッピングは自動運転車のより幅広い展開のための重要要件だと考える専門家は多い。ボッシュは中国が自律運転車両の主要市場になると予見している。同社は6カ国で聞き取り調査を実施しており、中国では、自動運転の早期導入を望んでいると答えたのは回答者の74%だった。一方、ドイツではこの数字は33%、米国では31%となっている。現地企業との提携により、ボッシュは世界最大の自動車市場での自動運転分野にいち早く乗り出そうとしている。

上海モーターショー2017: ファウレシアが新たに革新的 HMI、エンターテインメント、コックピットを展示

2017 年 4 月 20 日 10:50 (グリニッジ標準時)

排ガス削減ソリューション、インテリア部品用軽量バイオ材料も展示

ファウレシア (Faurecia) が、中国で開催の上海モーターショー2017 で同社の最新イノベーションの数々を展示していることを 4 月 19 日付のプレスリリースで発表している。展示されている主な製品や技術にはスマートサーフェスがあるが、これは HMI (ヒューマンマシンインターフェース) やネットワーク接続体験、また組み込みのセンサや光学装置を介して運転者の生物学的および行動的ポイントを測定する第二世代スマートシートの Active Wellness™ 2.0 などを対象とした電子部品、ディスプレイおよび装飾部品を車両に統合する同社の専門知識を示すものであり、眠気やストレスへの対策を講じ、自律運転モード解除後に運転者が車両と再びつながり合う準備を整えるものだ。

VR (仮想現実) の支援もあり、ファウレシアの展示は未来のコックピットがネット接続する様子を実証し自律運転が現実になりつつあることを予言するものとなっている。ファウレシアが最近戦略的投資を行ったパロット・オートモーティブ (Parrot Automotive) は、デジタル TV チューナーやメディア放送、エンターテインメントやアプリダウンロードのための簡単アクセスなどをスマートコネクティッドインターフェースやマルチメディアタッチパネルなどの上に表示する、エンターテインメントソリューションを展示している。

ファウレシアはまた、ASDS (Ammonia Storage and Distribution System、アンモニア貯蔵供給システム) という排ガス削減ソリューションも展示しており、同社はこれによりディーゼルバスの窒素酸化物排出量を最大 99%削減可能としている。同社はまたバイオガーデン (Bio Garden) も展示しており、軽量のドアや計器パネル、装備品、その他の不可視性車両内装部品を開発するためのバイオ材料が使われている様子を示している。

重要ポイント: ファウレシアは自動車用シート、インテリア、排ガス削減技術のフランスの大手サプライヤーである。上海モーターショーで同社は、自律運転が実現した未来の自動車コックピットの様子を展示している。数社の自動車メーカーと技術企業が今後 5~10 年間で、高度な、または完全な自律運転車の発売を目指して取り組んでいる。このような高度な自動運転車両では、大半の時間はマシンが運転を受け持ち、人間の運転者を含む乗員には他の活動に費やす時間が十分に与えられる。ファウレシアを含む自動車インテリアサプライヤーは、そうした自動運転車での旅が乗員にとって単調なものにならないようなソリューションに取り組んでいる。ファウレシアは、インテリアや座席などの分野における数年間の経験と、パロット・オートモーティブのような戦略的パートナー企業の専門知識を活用し、「未来のコックピット」と呼ばれるものの開発を進めている。

ボルボ、中国で初の電気自動車製造。

世界への輸出を見込む

2017年4月17日 13:33 (グリニッジ標準時)

完全電気自動車が2019年立ち上げの見通し

スウェーデンの自動車ブランド、ボルボ (Volvo) が中国で初の完全電気自動車の製造を計画しているとオートモーティブ・ニュース・ヨーロッパ (Automotive News Europe) が報じている。報道によると、同社は今月下旬開催の上海モーターショー2017でこの計画の公式発表をする可能性があるという。この完全電気自動車は2019年発売予定で、中国から世界へ輸出されると見られる。この電気自動車は中国南東部の路橋区にあるボルボの工場で生産される。

重要ポイント： 報道によると、ボルボ初の完全電気自動車はCMA (コンパクト・モジュール・アーキテクチャ) に基づくが、車体スタイルについてはまだ明らかになっていない。CMAプラットフォームは、浙江吉利ホールディング (Zhejiang Geely Holding) の姉妹ブランド Lynk & CO. がボルボと共同開発したものだ。情報筋のオートモーティブ・ニュース・ヨーロッパによると、ボルボは同社の大型SPA (スケラブル・プロダクト・アーキテクチャ) に支えられた完全電気自動車も開発中だという。記事には、ボルボ・カーズの社長兼 CEO のホーカン・サミュエルソン (Håkan Samuelsson) 氏が以前に語った、「ボルボでは同社の自動車販売全体の10%を電気化自動車にすることを目標にしている」というコメントが引用されている。

テスラ、9月にトラックトレーラーを展示

2017年4月17日 13:40 (グリニッジ標準時)

詳細は現時点では未公表

米国を拠点とする電気自動車メーカー、テスラ (Tesla) が9月のトラックトレーラー展示に向けて取り組んでいる、と同社のCEO兼創業者のイーロン・マスク (Elon Musk) 氏が4月13日にツイートした。しかし、同氏は車両のパワートレインに関する情報は明らかにしていない。

重要ポイント： マスク氏がテスラの電気トラック製造計画について初めて示唆したのは、昨年6月の基本計画時であった。当時テスラは、個人的移動手段の先に大量輸送や物品輸送も視野に入れている、と語っている。同社はまた、大型トラックや高乗員密度の都市交通を目指しているとも述べている。テスラはまた、「新しい種類のピックアップトラック」と呼ばれるものも計画中である。「いずれもテスラでは開発の初期段階で来年には公開準備が整うだろう。テスラのトラックトレーラーは、貨物輸送コストを大幅に削減すると同時に安全性を高め、運転が楽しくなるようなものになるはずだ」とマスク氏は述べている。

商用車両や大型重量車両の電気化も同様の早期採用が見込まれている。世界中の各国政府が公共交通システムへの電気バスの導入を検討、自動車フリートの所有者が操業コストと二酸化炭素排出量の削減を目指しているからである。自動車メーカーのなかでは、スカニア (Scania) とボルボが大型重量車種の電気化を検討している。スタートアップ企業では、代替燃料トラック分野で最も著名な存在の一つであるニコラ・モーター (Nikola Motor) が水素燃料電池を動力源とする [ニコラ・ワ](#)
[ン](#)トラックを展示している。

オペル・インシグニア 新モデルのサプライヤ

モデル図:

オペル・インシグニア 新モデルのサプライヤ

ターボインジェクション
RHEINMETALL AUTOMOTIVE

FFVトランスミッション
ODENWALD-CHEMIE GMBH

窓フレーム仕上げ
Dr. SCHEIBER

空気流量センサー
DELPHI

機油圧検知装置
DOW AUTOMOTIVE

オイルエレメントローラー
MAHLE

ワイヤレスシステム
DENSO

エンジンバルブ
EATON

スプリングアライナー
VIBRACOUSTIC

暖房ユニット
HUMMEL

駆動用電気ブレーキ
GM/ACB

エクスタリアクター
SMR AUTOMOTIVE

ダッシュパネル内部
IAC

SHILOHORE - ダッシュパネル
SHILOH

遠隔充電装置 - CDO
ZF

ケーブル駆動A駆動系(ボクシ)
HELLERMANN TYTON

ワイヤステアリングクベククベクシステム
GKN

内製リレーシステム
AGM AUTOMOTIVE

燃料タンク燃料システム
LYDALL

車灯ランプ - LED
MAGNETI MARELLI

パルプシート
FEDERAL-MOGUL

カムシャフト
THYSSENKRUPP

後部制動システム
STABILUS

SCRシステム - フェーゼルタンク
PLASTIC OMNIVUM

カスタム車部品 - リアトレイル
VOESTALPINE

ブレーキシステム
ROCKLING AUTOMOTIVE

電子式駆動制御ユニット
PREH

手動充電装置
BROSE

8mm高エネルギーボイラーシステム
MULTIMATIC

駆動ホイールネット
MACLEAN-FOGG COMPONENT SOLUTIONS

イラスト: @Nevia Mahajan

ご質問、または弊社モデル図への情報提供をご希望の場合はメール automotivenews@supplierbusiness.com で担当James Clark まで、またはウェブ サイト www.ihssupplierinsight.com からご連絡ください。

IHS Markit